

アイスストッカーの用具と競技方法

1. 用具とコート

(1) 用具 ①ストーン8個（2色に分けた各4個）

ペンキで別色に着色する

河原にある底が平らな石
(H=3cm R=20cm位)



アルミ柱のストック（約30cm）

石の中央に穴を開け接着剤で取っ手（ストック）を固定

周りに3～4cm幅のゴムバンドを巻く

- ②送球マット（古いじゅうたん等のマット・60cm×90cm）
- ③標 的（アイスホッケーのパック）
- ④メジャー（標的からストーンの距離を計る・3～5m）

(2) コート 3m×20mで10mのセンターラインを表示する

2. 競技方法

(1) 競技方法

氷上に20m×3mの長方形の区画をし、10mの所に標示をする。

滑り止めとして区画の手前（両側）にマットを敷く。先攻チームが標的を10m～20mの間に投げ、その投げた人が標的に近づけるようにして投げる。後攻チーム1番目の者は、先攻チームの1番より近づけるようにして投げる、近くなければ後攻チームの2番が投げ、先攻チームより近くなったら先攻チームの2番目の人と交替する。つまり不利なチームが有利になるまで投げ、8個全部投げ終わったところでセットを終了する。標的に相手より近いストーンの数を得点としてセットを繰り返し進行し、9点先取したチームを勝ちとする。

(2) 競技の例

①このゲームは氷上に投げた標的を目標に各チーム4個合計8個のストーンを滑らせて、寄せ付けることで得点を争います。

②それぞれのチームが4個のストーンを投げ終わったとき、1セットが終了する。

(例) 1セット	○ ○ ◎ ○ ◎ ● ◎ ○ ◎	○チームは◎チームよりも標的●に近く1個を確保したので○チームが1点
(例) 2セット	○ ◎ ◎ ◎ ◎ ● ○ ○ ◎ ○ ○	◎チームは○チームよりも標的●に近く3個を確保したので◎チームが3点
(例) 3セット	◎ ○ ◎ ○ ◎ ● ○ ◎ ◎ ○	○チームは◎チームよりも標的●に近く4個を確保したので○チームが4点

3セット終了までの得点は5対3で○チームが勝っていることになります。

セットを何回も繰り返し、先に9点になったチームが勝ちとなります。

3. 送球順番

まず、先攻を決めて標的を10m～20m以内に自分の得意の距離に投げる権利を得る。

同位置にマットを固定し最初のストーンを滑らす。次に後攻のチームが先攻のチームのストーンよりさらに近づくまで滑らせ続ける。

後攻チームのストーンが先攻チームのものよりも標的に近づけたら先攻チームが代わって滑らせる。

このように標的に一番近づけたチームは相手がさらに近づけるまで又はストーンを使い終わるまで待って、次のストーンを滑らせます。

即ち、その時点で負けているチームが勝っているチームに挑むということになり、全部投げ終わってから得点を数えます。

第2セットからは前のセットに勝ったチームが先攻権を得ます。

アイスストッカー競技規則

昭和57年 1月 8日制定

昭和58年 1月21日改正

1. 競技者はチーム4名とし、4個のストーンを使用し、ゲームを進める。登録者は6名まで可能で送球は自由である。
2. コートは20m×3mのテープで氷上に区画され、送球マットは短辺の中央外側におかれる。(ストーンがオンラインの時はセーフとする。)
3. 標的はコート内10m～20m以内に送球位置から投げる。標的は2回まで投げ直すことができる。2回とも失敗したときは先攻権が移動する。
4. 標的及びストーンは腰より高い位置から送球してはならない。即ちアンダースローで滑らすこと、送球後倒れたストーンはセット終了までそのままの状態でおく。
5. ストーンの形・重さ等による不公平を防ぐため、セット毎に色分けしたストーンを交換する。即ち紅白の場合1セット目に赤を使用したチームは2セット目は白を使用する。1セットずつストーンの交換をしてゲームを進めて行く。
6. 標的にストーンを最も近づけたチームは相手方がさらに近づけるかストーンを使い終わるまで送球する。
7. 双方のストーンが標的に対して同等距離になった場合は、後に近づけたチームがさらに送球することとする。また、セット終了後同等距離の場合は、それぞれのチームに1点を与える。
8. ゲーム中、標的をコート外に弾き飛ばした場合、そのセットは終了し、相手チームに2点または相手チームの残っているストーンの数のいずれか多い方を得点として与える。
9. 得点の計算は、両チームのストーンを全て送球し終わったのち、標的に最も近いストーンのチームが相手チームの標的に一番近いものより全て得点となる。(1個につき1点)
10. セットに勝ったチームは引き続き先攻権を得、ゲームを続ける。
11. 9点先取したチームを勝ちとしゲームを終了する。(終了得点は、ゲームに応じて決めてもよい。)